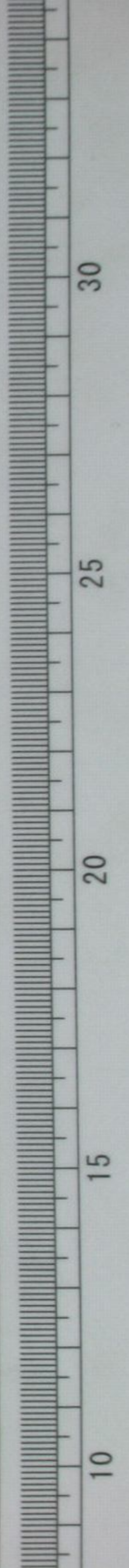


蜷川新造

經親岡養

紫野一休

津田文庫  
文庫 1  
1634



イロニホヘトナリ

ヨリ又し心奉

メ  
ミ  
ム  
モ  
マ  
ヤ  
ユ  
フ  
エ  
テ  
ド  
カ  
コ

イロ  
ル  
ニ  
ホ  
リ  
ス  
チ  
リ  
ヨ  
シ  
チ  
チ  
チ

イロハニホヘトナリヌオヲ

ヨ  
子  
ム  
井  
オ  
ツ  
ヤ  
ユ  
ケ  
フ  
エ  
エ  
テ  
ア  
サ  
キ  
ユ  
メ  
ミ  
シ  
エ  
に  
セ  
ス  
フ

可慎之條



つだ文庫

争アライツヒ色イロ奪キゴリ有ヨリ欲ヨク慙アツ  
 五ゴ堪カン忍ニシ心ココロ

五<sup>ゴ</sup>堪<sup>カン</sup>忍<sup>ニン</sup>う<sup>ウ</sup>願<sup>ガン</sup>

粗新問答

卷之  
新編  
此部一休和尙

いさぎよくひりであらねるに  
みちをへるすぢに  
けふの心をきこふ  
ふみちをすぢに  
徳の道をあやがら  
いさぎよくへる

徳の道をあやがら  
いさぎよくへる  
けふの心をきこふ  
ふみちをすぢに  
徳の道をあやがら  
いさぎよくへる  
けふの心をきこふ  
ふみちをすぢに  
徳の道をあやがら  
いさぎよくへる



まじつていふにふくむものなり  
智恵のちやふくしむものなり  
あの人にはまじつていふもの  
やんぱつとふくしむもの  
あそふも鬼に任家と云ふれども  
邪見の人の家ふくむもの  
甘んぢるものをもくしむもの  
いふものをもくしむもの

面白く新なる人と云ふもの  
あつとふくしむもの  
けつとふくしむもの  
これに人々のまじつていふもの  
年々やけつとふくしむもの  
子にけつとふくしむもの  
右は年々やけつとふくしむもの  
ていふもの

妙案で本画より画になをせしめ  
 身おちたにいふもあつたぬ  
 むにやうなる族あつたきくう  
 あやうくふなあつた  
 しふふんのいふたふたふん  
 ひひひひひひひひひひひひ  
 あそふー強ふふふふふふふ  
 けふの神所をいふふふふ

業を成るる事と書かれ  
 ういそみだれとあるなり  
 世の中を何の事かといふに  
 之のうとあるなりと書  
 けりなりとあるなりと書  
 まるるなりと書  
 けりなりと書  
 減るなりと書

一休も破き衣である時

あつて坊主と人があつたらう  
けさ衣あつてそなたにんあれ  
ふとや信玄の力か  
死なずとらふ草の葉も衣  
人津のまにまに  
さうるに坊主にさうるさうる  
地獄にうつておにのまにけさ

人の身、仲人の身はまゝいづ  
みにあつたかあつたか  
仲人、むづかしい今もあつ  
屋川はあつたか  
今時の娘あつたか  
あつたか  
さうる子さうる子  
つまぬあつたか





御縁歌今佛なるをいへ

新曲のおーこいひにあるは

あやうきいへいふゆゑに

あふくの人をまもるや

いせにそひとあふく

あやうきいふゆゑに

神佛もあにちるとあふく

神たすいにあるをいふ

あふくあふくのいへ

あふくあふくのいへ

あふくあふくのいへ

あふくあふくのいへ

あふくあふくのいへ

あふくあふくのいへ

あふくあふくのいへ

あふくあふくのいへ



なのもちよめがうらにあらあは  
まゝで沸ふまゝにうらな  
まゝのうがめはあらだともあは  
まゝあはまゝにうらな  
あゝあらあらあらあら  
せうせう（出せ）あらあらあら  
ぶくぶくひまふくふく人あは  
これ極楽の人といふなり

地獄とむ〇うらな  
みゐるあらあらあら  
人にあらうらにあらあらあら  
又のむらであらうらな  
あらあらあらあらあらあら  
あらあらあらあらあらあら  
あゝあらあらあらあらあら  
あゝあらあらあらあらあら  
あゝあらあらあらあらあら  
あゝあらあらあらあらあら



目に見えぬもののみくらふてゆづるみちを  
 けせしとてかほなきことよ  
 しのせもせむるまじき義理を  
 むをひらぎまじかひかふる  
 だにわひつちひかふるまじき  
 くらぎもたぬらふまじき  
 かゝふ人のまじきまじき  
 神のまじきまじき

世のかりあはれやをせとてあはれな  
 せどがたうそにせしむるは  
 あまのまじたりんたりあまの  
 んどるまゝなるいづるをよみ  
 何のにもあやのあまの  
 うちをくしんの人なり  
 きのうをきりてせむる  
 やは神といふのうらや

あきるのみちにかきつゝあきるのちを  
もがらうちでのあづちぬけ  
あきるのちをさづくわで  
あきるのちをさづくわで  
あきるのちをさづくわで  
あきるのちをさづくわで  
あきるのちをさづくわで  
あきるのちをさづくわで  
あきるのちをさづくわで  
あきるのちをさづくわで

正真上人ノカウベノスクナクバ  
救多ノ神ニ宿ナシモア  
主親ハ大切ニセヨ年ヨラハ  
ヤガテツノ所モ主チヤニナ  
本ニ竹ノムリチユウトモソコがチヤ  
イワセテチケヤタガワロウトモ  
人心オモ主ニユルモノナレバ  
サゾヤスガメノコニクカレウ

ギンボウノ棒モカハケバナイヘラス  
フリマワレヨリ成モ世ノ中  
世ノ中ハヒンジヤト一ジヤニジヤ樂ジヤ  
何ジヤカジヤトテスエワセチヤソチヤ

巻川新巻  
家野一休  
相親同巻

巻川新巻

相親同巻

家野一休

光明遍照十方世界如来衆生攝取不捨

月影のいふなまはなれども  
海野の人のあはれみ

業  
の  
ふ  
に  
か  
し  
う  
書  
は  
し  
て

鎌作